

令和7年度岩手県小・中学校学習定着度状況調査等業務委託仕様書

1. 委託業務名

令和7年度岩手県小・中学校学習定着度状況調査等業務委託

2. 委託期間

契約締結の日から令和8年3月31日まで

3. 実施要項

別紙のとおりとする。

4. 委託内容

岩手県教育委員会が実施する令和7年度岩手県小・中学校学習定着度状況調査に係る実用品の作成・印刷・配送及び令和8年度岩手県中学校新入生学習状況調査に係る実用品の作成・印刷・配送

(1) 令和7年度岩手県小・中学校学習定着度状況調査に係る問題作成・印刷・配送

① 調査実用品の作成・印刷

ア 学習定着度状況調査の問題用紙、解答用紙

イ 問題のねらい、評価の観点、領域の一覧表

ウ 正答一覧表

※ア～ウの印刷部数は、(3)に示すとおりとする。

エ リスニング問題・音源作成・録音・CD作成(中2英語)

※印刷部数は(4)に示すとおりとする。

② 問題用紙等の配送等

問題用紙等は、業者から直接各学校及び県教育委員会・市町村教育委員会等に配送する。

※使用済み問題用紙は、各学校において生徒の事後指導に活用することとし業者は回収しない。

(本調査実用品一式は、令和7年9月24日(水)8:30～15:00必着のこと)

(2) 令和8年度岩手県中学校新入生学習状況調査に係る問題作成・印刷・配送

① 新入生調査実用品の作成・印刷

ア 新入生学習状況調査の問題用紙、解答用紙

イ 問題のねらい、評価の観点、領域の一覧表

ウ 正答一覧表

※ア～ウの印刷部数は(3)に示すとおりとする。

② 問題用紙等の配送等

問題用紙等は、業者から直接各学校及び県教育委員会・市町村教育委員会等に配送する。

(新入生調査実用品一式は、令和8年3月18日(水)8:30～15:00必着のこと)

(3) 調査問題、解答用紙 等

■令和7年度学習定着度状況調査

区分	学年	実施教科	ア 受験人数	イ 学級数	ウ 学校予備 (学校数×2)	エ 市町村 (33市町村×5)	オ 事務所等 (6事務所×2)+2	カ 県教委	キ 教科数	計 (ア～カ)×キ
小学校 258校	第5学年	国語、算数	8,658	385	516	165	14	50	2	19,576
中学校 142校	第2学年	数学、英語	9,048	324	284	165	14	50	2	19,770
総 計										39,346

※「ア 受験人数」は令和7年度の小5及び中2の見込数である。

※「イ 学級数」は令和6年度の小4及び中1の学級数（複式学級を含む）である。

※事務所等とは、教育事務所と総合教育センターのことである。（以下、同様）

■令和8年度新入生学習状況調査

区分	学年	実施教科	ア 受験人数	イ 学級数	ウ 学校予備 (学校数×2)	エ 市町村 (33市町村×5)	オ 事務所等 (6事務所×2)+2	カ 県教委	キ 教科数	計 (ア～カ)×キ
中学校 142校	第1学年	国語、数学	8,987	324	284	165	14	50	2	19,648

※「ア 受験人数」は令和7年度の小6の見込数である。

※「イ 学級数」は令和6年度の中1の学級数（複式学級を含む）である。

(4) 聞き取り用CD（英語）、聞き取り問題の内容及び正答一覧表

■令和7年度学習定着度状況調査

区分	学年	実施教科	イ 学級数	ウ 学校予備 (学校数)	エ 市町村 (33市町村×5)	オ 事務所等 (6事務所×2)+2	カ 県教委	キ 教科数	計 (イ～カ)×キ
中学校 142校	第2学年	英語	324	142	165	14	50	1	695

※「イ 学級数」は令和6年度の中1の学級数（複式学級を含む）である。

(注) (3)の表の受験人数及び学級数等の数は、令和7年度の見込数等を用いて作成してあるので、実施時において増減があるが、契約額は変更しないものとする。

5. 実施方法

(1) 作業手順

岩手県小・中学校学習定着度状況調査等の問題作成は、岩手県の定める問題作成方針に基づき、岩手県の問題作成委員会の検討を経て、問題を作成する。作成手順は次の表のとおりとする。なお、問題作成委員会には、委託業者各教科担当者も出席（リモートの場合もあり）すること。

時 期	作 業 内 容
6月上旬	第1回問題作成委員会 内容…令和7年度問題作成の方針の確認、経年比較の問題の提案 ★委託業者は第1回問題作成委員会までに問題案を学校教育室宛て送付する。 ★委員会後、委託業者において次の作業を行い、問題作成委員と随時連絡をし、調整する。 ★6月下旬までに各学年、各教科の調査問題案、問題のねらい、評価の観点、領域等の一覧表を作成し、学校教育室宛て送付する。

6月中旬	第2回問題作成委員会 内容…調査問題等の検討
7月上旬	第3回問題作成委員会 内容…これまでの検討結果を受けて、本調査問題案を作成・決定する。 問題のねらい、評価の観点、領域及び解答を確定する。 ★委託業者は、事前に案を、問題作成委員に送付する。 ★委員会において本調査問題が確定しない場合、委託業者において、問題作成委員と随時連絡をとり調整し、調査問題、問題のねらい、評価の観点、領域及び解答の確定を行い最終校正の準備を進める。 ★委託業者と岩手県が発送作業等について打ち合わせ ★委託業者において、印刷、発送の準備 調査問題、解答用紙、質問紙調査
7月下旬 ～8月上旬	問題最終校正作業 ★委託業者において、最終稿（案）を学校教育室宛送付する。 学校教育室において、最終稿（案）について関係職の決裁を仰ぐ。 ★委託業者において、最終稿の最終校正を行う。 発送業務について打ち合わせ
9月24日(水)	学習定着度状況調査問題用紙等 各学校、各教育委員会等へ配送を完了。(15:00 必着) ※4(1)
10月1日(水)	調査実施
12月下旬	新入生学習状況調査原稿入稿
3月18日(水)	新入生学習状況調査問題用紙等 各学校、各教育委員会等へ配送を完了。(15:00 必着) ※4(2)
3月下旬	完了報告書等提出

(2) 学習定着度状況調査等問題作成の留意事項

- ① 問題作成は、委託先で原案を作成し、県の問題作成委員会に提案し、協議することにより完成させる。委員会は岩手県立総合教育センター（花巻市）を主会場として開催する。委託業者の各教科問題作成担当者もこの委員会にリモートで参加するものとする。
- ② 問題作成にあたっては、下記のようにする。
 - ア 問題は本調査実施のために7割程度は新規に作成し、3割程度は経年比較を行う。
なお、経年比較の問題は、岩手県において決定する。
 - イ 出題形式は、「選択式」、「短答式」、「記述式」とする。
 - ウ 出題範囲
原則として、前学年までの学習内容及び当該学年の1学期までの学習内容とする。
詳しくは、実施要項の別紙に示すとおりとする。
 - エ 問題数
各教科、おおむね25問程度とする。
 - オ 問題作成の際に参考にする教科書
岩手県内の小中学校で使用されている全ての教科書とする。
 - カ 問題用紙の体様
問題用紙は、各教科〔A4判12～20ページ、1c+1c、表紙共紙〕とする。

(注) 問題用紙のページ数は出題内容によって変動するものとする。

キ 解答用紙の体様

学力調査の解答用紙は別紙解答用紙〔A4判ペラ、1c+1c〕とする。

(3) 中学校新入生学習状況調査の留意事項

- ① 問題作成及び解答は、国語においては、5(2)①及び②に準じて作成するものとする。
数学においては、県の問題作成委員会が行い、データ入稿によるダイレクト印刷とする。
- ② 問題用紙、解答用紙の体様は、5(2)②カで示した学習定着度状況調査に準ずるものとする。

6. 調査問題等の活用

- (1) マスコミに情報提供をする場合には、提供内容については岩手県教育委員会が判断し行うこととする。
国語の問題に用いた著作物については、マスキングの上、提供することを想定している。
- (2) 中学校新入生学習状況調査に使用した問題等資料については、調査後に小学校に情報提供予定であること。
- (3) 基礎的・基本的な内容の定着のため、文科省 CBT システム (MEXCBT) に掲載することがあること。